

2
小林技師露國出張ノ件

MT

1710371

059

1-1966



電信課長

大臣

大官

書

亞細亞
歐米

通條
通商
條約
人情
會事
文書
對支文化

2
5

四條高上内
寫字の用

件名
綴込名ハ平内年所

8807
暗38
本指看
大正五年九月
三日付
二日後
四二

幣原外務大臣
田中大使

第三六三號 (二日後)

大正五年九月五日 記録係接受

出淵次官へ

東京出發前御話アリタル小林商工省技師
派遣ノ件ハ當時豫想セシカ如キ必要ナキモ
若シ直ニ出發シ得ルナラハハイスシテ無益ナラズ
尙派遣ノ名義ハ一般石油調査ノ爲トシ利権
交渉ニ關係セサル体裁トスル方交渉進行上
好都合ナリハナリ其他ノ油田調査ノ利権

利権經營監督上當局ニ取り有益ナルハシ

MT

1710371

061

MT

1710371

060

1-1966

公文書案

文書課
長検印

甲號用紙

文書課發送

主 管 歐米局長

主任

起草大正十四年九月五日

淨書 (河内)

正校(原稿) (淨書)

機密第十九

號 大正十四年九月五日

附屬書

通

受 信 在車郵

人名 ソウイ止 聯邦大使館

發 信 外務省

件名 本林技師の宣誓書1件

名 込 縫

日本外務省嘱託トシテ ソウイ止 聯邦

出張ヲ命セラレタル高工技師本林儀一郎

氏ハ本月二十日 哈爾濱省 莫斯科

公文書案

外務省

MT

1710371

062

(乙號用紙) 圓納

赴キタキ 希望ナルニ付 同人ニ對シ 至急ハ
國査証ヲ与ヘラレニユトシ 日本外務省ハ
ソウイ止 聯邦大使館ニ 請示スルノ 光榮
ヲ存ス

MT

1710371

063

外務省

1-1966

主任
翻譯課長

The Department of Foreign Affairs presents its compliments to the Embassy of the Union of Socialist Soviet Republics, and has the honour to request that the Embassy will be so good as to grant, at its earliest convenience, a permit to enter the Union in favour of Mr. Giichiro Kobayashi, an expert official of the Department of Commerce and Industry, who, having been commissioned by the Department of Foreign Affairs to proceed to the Union, desires to leave Harbin for Moscow on the 21st instant.

Tokio, September 15th, 1925.

Handwritten initials in a circle.

浄書
#上
校
正
原

MT

1710371

064

1-1966



次官書

電信課長

案

(丙) 號用

暗號

發電大正十四年九月十七日午後

九時

分送電番號

二七七

長春經由

管主

歐米局長

任主

歐米局長課

起草大正十四年九月十七日

(印)

(印)

(印)

(印)

受信人

在露田中大使

發信人

幣原大臣

件名

小林技師露國出張件

級込名

モリノ

第二九三二號

貴電第三六三號ニ関シ小林技師ヲ外務

省囑託トシ千百哈爾賓發貴地ニ直

行セシム

電信案

外務省

MT

1710371

065

1-1966

政一へ送る

お

8807 暗 38 莫斯利 費
本 省 署

大正四年九月 二日 四日 三日 四日

幣原外務大臣 田中大使

第三六三號 (二日後)

出淵次官へ

東京出發前御話アリタル小林商工省技師
派遣ノ件ハ當時豫想セシカ如キ必要ナキモ
若シ直ニ出發シ得ルナラハゆえニ無益ナラス
尙派遣ノ名義ハ一般石油調査ノ爲トシ利権
交渉ニ關係セサル体裁トスル方交渉進行上
好都合ナリハナラシ其他ノ油田視察ハ擇々

利権經營監督上當局ニ取り有益ナルハシ

送 込
平子一
電

政一
電

MT

1710371

067

MT

1710371

066

1-1966

次
官

電信課長

昨
電文
歐米局長
主
任
歐米局長
九日
午後
四時
分
送電番號
六〇七六
長春經由

受信
人名
哈爾濱
天羽總領事

件名
小松技師旅行の件

第九號

名込綴
六二一三

發信
人名
幣原大介

今般外務省囑託トシテ露國出張ヲ命セ
ラレタル小松高工技師本十日東京発費
地ニ向フニ付二十日哈爾濱發一列車ニ

電信案 外務省

(丙) 號用紙

(乙) 號用紙(國納)

莫斯科迄一專坐席一人分豫約アリ
タク尚露貨貳百留兩替方御手配
アリタレ

外務省

MT 1710371 069

MT 1710371 068

1-1966

門類
項目
號

大臣
次官

電信課長

亞細亞
歐通條
人情報
會計事
文書
對支文化

書

五

1

件名
綴込名 北京會議細目抄

大正十四年九月廿九日記録係接受

一

下
本
者
者

東郷改米筒其

小林

昨夜日本風雨、連絡船不通、出立未定
二十一日、汽車、同、合、又、冷、爾、家、之、物、也

MT

1710371

070

1-1966

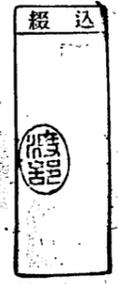
五

926.0 南 56 下関 廿四 大正四年九月十八日

東郷改米局 課長

小林

昨夜暴風雨、連絡船不通、出立未定
二十一日ノ汽車ノ間、合ハ又、哈爾濱、電
通。



第 一

MT

1710371

071.

1-1966

要
再
回

署

電信課長



電信案



(丙號用紙)

平
文

發電大正

十四年九月十八日

午後一時

十分

送電番號

六一三八

(起草大正十四年九月十八日)

奉天經由長春經由

主管 歐米島長

主任

二課

あ



受信

在哈爾濱

人名

天羽總領事

發信

幣原大臣

件名

小林技師旅行三客之件

綴

毛ノ子

第九九號

往青茅九八號三間

小林技師より二十一日發列車三間ニ合ハサル旨

不通ノ為

電信案

外務省

(乙號用紙) 圓納

電報了り免ニ付右ニ而テ承知相掛申付

外務省

MT

1710371 073

MT

1710371 072

1-1966

已條寄上收妥

大臣 次官 橋

電信課長 藤井

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人事 會計 文書 對支文化

五

幣外務大臣

少林技師忠着、省商、省及、省字宛へ

大正十四年拾月拾六日記録係接受 田中大使

9812 (平) 10 本省着 大正十四年十月八日台0.三四 八日前五三〇

件名
綴込名

改一人

係

MT

1710371

074

1-1966

三三三
改入

9812 (平) 10 莫斯科科發
本省着 大正十四年十月
七日台 〇.三四
八日 前 五.三〇

幣 外務大臣

田中大使

少 林技師 出着 一 省 商 不 箱 及 局 宗 宛 へ

御 傳 へ 申 上 下

あこ者
地名 洞 壺 子 社 元 氏 へ
元 此 子 氏 へ 下 へ
一 台 升 上



MT

1710371

075

1-1966

門
類
項
號

大臣

次官

電信課長

藤村

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人事 會計 文書 平和條約 對支文化

10029

平 23/22 莫斯科
本省 2 頁

大正十四年十月 十四日 后七、二一
十五日 前一一、五九

綴込名
件名

幣原外務大臣

田中大使

第四三七號

小林技師より商工省鑛山局長へ左ノ通り
「バク」油田調査ノ為通譯費約一ヶ月分
千田御心配ヲ請フ
大使館其他ノ通譯借用出來ヌ

MT

1710371

076

1-1966

文書課長 公文書 大正四年拾月拾五日接受

3

門
類
項
號

要再回

文書課發送	主 管 歐米局長	普通第 〇 號	大正五年十月十五日附	淨書 (甲)	正校 (原稿) (小)	(甲號用紙)
受 信 商 工 省 松 山 商 長	發 信 大正五年八月廿五日記錄係接受	附 屬 書 通	附 屬 書 通	發 信 人 名 廣 田 味 貞 郎	名 込 綴 廣 田 味 貞 郎 莫 斯 科 州 利 捷 文 學 小 林 技 師 出 部	件 名 小 林 技 師 出 部 修 養 費 部 送 付 件
公 信 案	外 務 省					
<p>本件は同月十五日在莫斯科田中大使より別紙一通來覆有之付右紙を送付</p>						

MT 1710371 077

乙號用紙(圓納)

外 務 省	<p>小 林 技 師 出 部 修 養 費 部 送 付 件</p> <p>ハク一 油田調査、為通譯員納</p> <p>ヶ月分予内御心配ヲ請フ</p> <p>大使殿見他、通譯員用出来又</p>
-------	--

MT 1710371 078

1-1966

五

10029
再取
本省
莫斯科
大正十四年十月

十四日
十五日
前一二九

幣外務大臣

大正十五年八月廿五日記録係接受
田中大使

第四三七號

要
外

外
三

小林技師より商工省鑛山局長へ左ノ通
バクラー油田調査ノ為通譯費約一ヶ月分
千田御心配ヲ請フ
大使館其他ノ通譯借用出來ヌ

外
三

MT

1710371

079

1-1966

次官 務

會計課長

電送第 6891 號
14年10月23日 11時30分

電信課長(兼)

電信案

(原議用紙甲) 國籍

主 管 歐米局長

主 任 第一課

(起草大正十四年十月二日)

件名 小林技師通譯関スル件

級 込 名

宛 左莫斯科

田中大使

幣原大臣

本路

要目付

第三三九號

大正十五年八月廿五日記録係接受

首電第四三七號ニ関シ

商工省ニテ通譯費ノ支出不可能ナル趣ナリ

尙當省ニ於テ支支出困難ナルガ小林ハ是迄

通譯ナシニ各地ヲ旅行セル公苦ナレハ今回モ通

電信案

外務省

MT

1710371

080

(原議用紙乙) 國籍

譯ヲ帶同セストモ調査可能ナルヘシト思

考ノセラルルニ就テハ右ニ関スル御見込電

報アリタシ

電信案

外務省

MT

1710371

081

方

10425 (略) 11 莫斯科發
本省着 大正十四年十月廿四日 石四四六
前二〇〇〇

幣原外務大臣

田中大使

大正五年八月廿五日記錄係接受

貴電三三九号(廿号前)

小林ノ調査旅行ハ通譯無シテハ困難ナリト認ム

石田 啓人

MT

1710371

082

1-1966

門	1
類	2
項	10
號	

大臣
次官
官

電信課長
藤井

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
人事
會計
文書
對支文化

10380
略
本者著

件名
綴込名 莫斯列列特交済

幣原外務大臣

大正四年三月四日 記録係接受
田中大使

第四五〇號(二十三年前)
利権會議延長ノ關係モアリ小林技師
出展期了一ヶ月半延長許可方若工省
トモ古墳議ノ上何分ノ儀回電アリタシ

MT 1710371

083

1-1966